

ご当地体操で介護予防! 本学リハビリテーション科学部 鈴木教授が考案

今や、ご当地体操百花繚乱。函館市のイカ踊り体操。網走市のカニちよっきん(貯金)体操、等々。そんな社会情勢の中、当別町役場の方から呼び出されたのは今年の4月です。「当別でも、介護予防のための体操を作ってほしい」というご要望を頂き、早速…とはいかず、説明資料を机の引き出しに仕舞い込んで4か月。8月に入ると、役場の方から「9月の高齢者クラブの運動会でお披露目したいのでヨロシク」と。

こんな経緯で、構想5か月?作成〇日?で、体操は完成したのです。もともと、このような体操を作成した経験があったので、その際のノウハウをフル活用。そして、本学部の近藤教授に音楽監修をお願いして、運動会の1週間前に無事完成したのです。

これからの課題は、いかに地域住民の方に周知し、日々の生活に取り入れてもらうかということ。そのために、当初、役場に「ケーブルテレビを当別に導入し、定時放送しては!?」などと提案しましたが、当然のごとく却下されましたので、まずは関係者の方への地道な啓発と、学生の講義などを通じて地域への周知が図れないかと模索中であります。タイトルはまだ決まっておりません。「仮称:当別三日坊主体操」。これから宜しくをお願いします。



北海道新聞朝刊(平成27年9月2日)掲載記事

本学歯学部6年生 中島美咲さんが、 『第21回SCRP日本代表選抜大会』において臨床部門第2位を受賞

8月21日(金)、日本歯科医師会館において日本歯科医師会が主催(後援:デンツプライインターナショナル)するスチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム(SCRP)日本代表選抜大会が開催され、全国の歯科大学・学部27校の代表スチューデント・クリニシャンが、それぞれ学部生としての研究成果を発表しました(発表及び質疑応答は英語)。

臨床部門の1位と2位、基礎部門の1位と2位のみが表彰され、本学の歯学部代表として参加した6年生の中島美咲さんは見事、臨床部門2位を受賞しました。また、8月26日(水)にその栄誉を称え、歯学部長室において表彰状の授与式を挙行了しました。



EDITOR'S NOTE

先日、ワールドカップラグビーが閉幕しました。テレビの前で手に汗を握りながら応援された方も多いのではないのでしょうか。残念ながら日本代表チームは、ベスト8進出とはなりませんでしたが、初戦では、優勝候補の南アフリカを破り、史上最大の番狂わせといわれました。しかしこれは、ジョーンズHCのもと、強豪チームの3倍と言われる練習量をこなしたからに違いありません。改めて、日々の積み重ねが大事であると認識させられた出来事でした。

北海道の地では、初雪がふり、間もなく校舎の周りも一面の雪景色となります。冬が近づくと、学内では、国家試験に向けての講義が組まれ、夜遅くまで勉強する学生が多く見受けられます。この努力が、報われるよう、我々教員も学生と一丸となってスクラムを組みゴールに向かって突き進みたいと思っています。そして春には、是非、ラグビー日本代表のジャージのような吉報が届くことを願っています。

(S:記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.162

STAFF ● 遠藤 泰 尚也 長澤 敏行 伊藤 修一
遠藤 紀美恵 志渡 晃一 金澤 潤一郎 武田 涼子
澤村 大輔 白鳥 亜矢子 千葉 利代 杉谷 晶彦
宮川 雄一 國見 明美 塚田 将人

発行日 ● 2015年11月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報・教育事業部 入試広報課
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757
☎(0133)22-2113
<http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/>

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしております。
E-mail:nyushi@hoku-iryo-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念
生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。